

令和3年松本市議会12月定例会
市長閉会あいさつ

[3.12.16(木) PM1:30]

閉会に当たり、発言の機会をいただきましたので、一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆様には、18日間に及ぶ会期中、熱心にご審議を賜り、それぞれの議案を原案通り決定いただいたことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

いただいた市政各般にわたるご意見、ご提言につきましては、今後、十分に精査、検討してまいります。

2019年末に、世界で初めて新型コロナウイルスが確認されてから、2年が経過しようとしています。この間、何度かの流行の波が繰り返され、日常生活や経済活動に大きな影響を及ぼしてきました。

松本市は、今年4月に中核市に移行し、自前の保健所を設置して以降、感染者や接触者に対する広範できめ細やかな調査の実施、医療機関との緊密な連携に基づくコロナ病床の確保や療養・治療体制の確立、感染者データの分析に基づく対策の検討と情報の発信を柱に、コロナ対策に取り組んでまいりました。

こうした取組みの上に、ワクチンを2回接種した市民の割合が85%に達する状況を築いた結果、松本市では、新規感染者の発生のない日が、10月中旬から2か月近く継続しております。

一方で、新たな変異株「オミクロン株」の感染者が、世界各地で確認され、日本国内にも伝播してきています。「オミクロン株」の全体像は未だ明らかになっていませんが、当面はこれまでと同様、基本的な感染防止策を徹底すると共に、低下した抗体の量を増幅させるブースター接種、3回目の接種の実施が、重要なコロナ対策となります。

3回目のワクチン接種について、政府は、2回目との間隔を、原則「8か月以上」としながら、「6か月」に短縮するケースも検討しています。また、供給するワクチンは、全国一律に半数近くをモデルナ社製とすることを明らかにしています。

松本市では、先週から医療関係者を対象に3回目の接種を開始しましたが、市民の皆さんが迅速に安心して3回目のワクチン接種を受けることができ、その結果、松本市全体で現在の高い接種率を維持することができるよう、政府の動向を注視し、丁寧できめ細かな情報の発信に努めてまいります。

新型コロナの影響を踏まえて立案された政府の経済対策に伴って、今日、追加提案し、認めていただいた給付事業等につきましては、できるだけ速やかに、市民の皆さんに届けられるよう、取り組んでまいります。

国の子育て世帯等臨時特別支援金につきましては、政府の方針が明らかになる前から、多角的に検討を重ね、現金10万円を一括して支給する方法を取ることを決めました。児童手当の支給対象で振込口座を確認できている、中学生以下の子どもがいる世帯には今月27日に、新たに振込口座を申請していただく、高校生の子どもがいる世帯には来月1月下旬に、それぞれ支給する予定です。

一方、市独自の経済対策として、今月からスタートした「まつもと冬割キャンペーン」は、今月13日の時点で、宿泊事業者149件、まつもとコイン加盟店舗265件が、参加していただいています。

宿泊事業につきましても、予定数の1割に当たる2千人以上の方に利用され、既に予約が上限に達した宿泊施設も出ています。引き続き大勢の皆さんにご利用いただき、宿泊や飲食を中心とした観光消費による地域活性を図っていきます。

また、「松本市イルミネーション2021-2022」は、天守のレーザーマッピングを催している松本城公園に、初日から半月で3万2千人余りの来場者があり、予想を上回る大勢の皆さんに観賞いただいています。

大半は、大名町方面から来場され、千歳橋や大名町のイルミネーションとあわせて鑑賞いただいております。「街なか周遊による街の活性化」にも、大きな効果が出始めています。

新型コロナの感染拡大で、これまで出かけるのを控えてきた市民の皆さんに対しましても、「ちょっと街中に出てみようか」という気持ちの後押しとなり、夜の市街地に着実に活況が戻ってまいりました。

あさってから、クリスマス期間限定の特別演出が行われます。1月に開催する氷彫フェスティバルや様々なタイアップ事業と合わせて、好調な人出を維持できるよう取り組んでいきます。

来年2022年は、今年策定した新たな総合計画のもと、時代の転換期に即した政策を大胆に実行していきます。

松本城三の丸エリアについて、方向性と将来像を共有するビジョンをまとめ上げ、名実共に「世界水準の歴史観光エリア」と評価される、まちづくりを進めてまいります。

バスの公設民営化を旗印に、松本市が主体的に地域公共交通の活性化に取り組み、便利で持続可能な新しい交通ネットワークを構築していきます。

「子どもが主人公」の社会を目指し、一人ひとりの個性に寄り添う先進的な学びの環境を提供するため、小規模特認校の導入を手始めに、公教育の多様化を推進していきます。

さらに、デジタル革新とゼロカーボンを構造変革の原動力として、将来にわたって24万程度の人口を維持する「人口の定常化」に取り組んでまいります。

議員の皆様には、時節柄、健康にくれぐれもご留意をいただき、良き新年を迎えられることをご祈念申しあげ、閉会のあいさつといたします。ありがとうございました。

(以 上)